

輪中館事業

平成24年度 第1回 輪中講座

5/26(土)

演題 輪中根性と水防意識
講師 花園大学名誉教授・文学博士 伊藤 安男氏
時間 10時～11時30分 参加者 89名



最初に文献から輪中根性という言葉の使用例を取り上げ、輪中地域住民が自分自身を劣等視して自虐的な意味合いで使用してきたことを具体的な事例で紹介されただけでなく、この言葉(「輪中根性」)は、高揚された水防意識に支えられ、また、隣接輪中との均衡を巧みに維持する輪中特有の知恵が包含されていることを指摘された。輪中根性の根底にある水防意識は、輪中の近代化(農業の近代化)に伴う地域産業基盤の変貌が大きく関わっていることを、アンケート調査や各種資料をもとに明らかにされた。近代化によって強固で立派な人工構造物などの施設だけでは、治水は成り立たず、水防意識のあり方が大事であることを強調された。

「輪中根性」をテーマにした講演会は、今まで取り上げられたことはなかった。輪中地域の住民の生き方や考え方は具体的な資料で検証されることは大変困難であり、今まで否定的な意味合いでとらえられてきたが、輪中特有の知恵が根底にあるとの指摘は、新鮮であった。

